コンパクトシティにおける本市の目指すべき姿

［いせはら為成会］ 大垣 真一

Q 多様化する市民ニーズや子育て世代が求める支援対応、高齢化率の高まりと高齢者福祉の対応、農林業従事者が減少する山林、田畑の存続など、まちを形成するためのさまざまな課題が山積しているが、本市のコンパクトシティにおける目指すべき姿について見解を伺う。

A **【都市部長】** 都市マスタープランでは、伊勢原駅周辺を中心拠点、愛甲石田駅周辺、伊勢原大山インターチェンジ周辺、鈴川工業団地周辺を地域拠点と位置づけている。また、広域幹線道路や鉄道などの地域拠点をつなぐ産業都市軸を位置づけ、それぞれのつながりを強化し、地域の活力を高め、職住近接のまちづくりを目指している。

また、地形的な特性を踏まえた「やま」「おか」「まち」「さと」、それぞれの地域とともに、鉄道駅から商業・業務系市街地、住宅系市街地、工業系市街地、農地や森林など自然系用地へと広がる土地利用の構成、鉄道駅からおおむね2キロメートルで網羅される市街地を形成し、快適に暮らせる都市、活力ある都市、個性と魅力ある都市を将来都市像としている。

【その他の質問】
◎災害備蓄状況について
ほか

消防署本署再建設について

［志政会］ 米谷 政久

Q 近年、台風等による豪雨災害や山林火災、地震など自然災害が多発し、南海トラフ地震などが発生する危険度も年々増してきている。災害に備えるため、消防庁舎の建設について今から計画を立てる必要があると考えるが見解を伺う。

A **【行政経営担当部長】** 地震を含む昨今の自然災害の状況を勘案すると、市民の生命、財産を守るための防災機能の強化は待ったなしの状況である。また、防災機能の強化は、第6次総合計画をはじめとした各種計画においても重要課題として捉えていることから、既に消防本部等と連携し、再建築の候補地の選定を進めている。候補地の選定に当たっては、緊急車両の円滑な出動、現場到着までの所要時間などはもちろん、機能集約や特定財源等の確保も考慮し、検討を行っている。

現段階においては候補地の確定には至っていないが、再建築には一定の期間を要することを考えると、可能な限り早期に候補地を絞り込み、具体的な取り組みやスケジュールを示したいと考えている。

苦労しないPTAは「住みたいまち伊勢原」に資する

［庶民］ 岸 圭介

Q PTAは入会届を提出していないにも関わらず会員になり、この仕組みのためにどれだけ多くの方が苦しみ、体調を崩し、我が子に不便を強いたかということを多くの母親を中心に承知している。仕事を辞めなければならなくなった母親や新しいソフトを購入し、パソコンの勉強を余儀なくされ、かなりの時間を拘束されることにより苦労しているという話も聞く。PTAで苦しむ保護者を出さないということは「住みたい・住み続けたいまち伊勢原」にとっては必要なことではないかと考えるが、市長の見解を伺う。

A **【市長】** そのとおりである。

【その他の質問】
◎公共下水道管について
ほか

ライスセンターの整備、若手農業者への期待について

［進風会］ 荻野 貴文

Q ライスセンターの検討会や、将来を担っていく若手農業者に期待し、農業が強い伊勢原をつくるべきと考えるが、市長に見解を伺う。

A **【市長】** 偏った意見ではなく、多くの方の意見に耳を傾けることは必要だと考える。その上で、農業をどうしていくかを決めて、そこから話を進めていかなければいけない。とにかく農業はこのままではいけないと考えているため、強い農業にしたい。

財政的な面は補助金を確保していくことがメインになると思うが、クラウドファンディングやネーミングライツなどをしっかり考えていく。

【その他の質問】
◎いせはらの未来に向けた日向地域計画について

児童館の一律廃止・譲渡の見直しを

［日本共産党］ 川添 康大

Q 児童館を地域集会所にするかどうかは、子どもの居場所や学校施設も含めるかなど、市域全体として考えないと決断ができないはずである。先に児童館だけの廃止を進めるから、さまざまな問題が起きている。児童館だけではなく、子どもの居場所として、市全体として検討、見直しを進めることが必要であると考えるが、市長の考えを聞く。

A **【市長】** 社会情勢として、子どもの数は減ってきている。地域によって課題は異なるため、それぞれ地域に合わせて、その必要性を見ながら、検討していく。

児童コミュニティクラブ利用申込期間の延長を

［いせはら未来会議］ 橋田 夏枝

Q 児童コミュニティクラブの利用申込期間が短く、伊勢原市は子育て世代に冷たいという印象を抱かれてしまう。早くから来年度の募集をかけるのはよいことだが、二次募集、随時募集を継続して行わないと、子育て世代に寄り添った対応とは言えない。来年度以降、改める考えがないか伺う。

A **【子ども部長】** 例年、入所決定後にキャンセルをされる方もいるため、12月の申込期間に間に合わなかった場合は、例えば、2月末までの申込であれば、4月入所のキャンセル待ちを受け付けるといった対応などについて検討していく。

教育のゴールは何であると考えているのか

［進風会］ 山田 昌紀

Q 教育のゴールは何であるか教育長に聞きたい。

A **【教育長】** 教育は人づくりだと思っている。人づくりは地域づくりであり、AIや教育DXは大切であるが、将来の社会を子どもたちに託すことから、子どもたちがその社会で生きていくための有効な能力だと言われている非認知能力や心の部分をしっかり育てることが大切ではないかと考えている。これは学校や家庭だけに任せるのではなく、地域全体で子どもたちをみんなで育てていくことが大切であり、そのような雰囲気が伊勢原の風土として根づくことを願っている。

【その他の質問】
◎会計年度任用職員制度について
ほか

◎本市の観光インバウンド施策について

過去の議会だよりをホームページからご覧いただけます。

会派一覧表

会派名	人数	所属議員氏名 ◆は代表
いせはら為成会	6	◆大垣 真一　越水 崇史 長嶋 一樹　八島 満雄 舘 大樹　大山 学
志政会	4	◆米谷 政久　夛田 巖 前田 秀資　小沼 富夫
いせはら未来会議	3	◆橋田 夏枝　森尾 武史 安藤 玄一
公明党いせはら	2	◆今野 康敏　中山真由美
日本共産党伊勢原市会議員団	2	◆川添 康大　勝又 澄子
進風会	2	◆山田 昌紀　荻野 貴文
庶民	1	◆岸 圭介

令和７年４月１日現在

所属会派名は３月定例会一般質問時点の会派名を記載しています。